

進捗報告書（実行団体）

事業名:	こどもの未来を守るプロジェクト CMMP
資金分配団体:	一般社団法人全国食支援活動協力会
実行団体名:	社会福祉法人大幸会
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	福岡県
事業対象者:	困窮世帯の子ども

Version 1.2

日付: 2021年11月11日

I. 事業概要

事業概要
母子生活支援施設の機能を活用したアウトリーチ事業：施設内での母子への子ども食堂を実施の際、地域の母子が参加出来る働きかけることにより、地域で孤立しがちなひとり親家庭や子育て世帯が地域とつながる交流拠点の役割を担う。また、施設の専門性を活かしたソーシャルワーク機能を地域に還元することで貧困の課題を抱える親子を公的支援につなぎ深刻化を防ぐ。地域社会福祉協議会と連携して子ども食堂や居場所づくりへの食の提供やスタッフの派遣をして支援を通じて新規の立ち上げはもちろん事業が継続するように支援をしていく。 県内のハブ拠点になり、必要な時期に必要な団体に届けられるように事業をHPや各実行団体に発信していく。

II. 進捗報告の概要

総括
福岡県母子生活支援協議会に地域支援委員会を設置して、研修会や子ども食堂団体と連携が出来るようになってきている。このことをどのように地域で孤立しがちなひとり親家庭や子育て世帯の支援に続けていけるか施設のソーシャル機能を活かす検討に入っている。また、子ども食堂や学習支援団体との連携も地域社会福祉協議会を軸にして進めることが出来ている。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①県内実行団体と連携しプロジェクトを継続的に実施するための土台作り ②福岡県母子生活支援施設協議会に担当委員会を設置 ③施設職員への研修会を開催 ④ロジ拠点ハブ拠点としての食材保管や運搬	①県社会福祉協議会協力のもと、連携がとれるようになってはきたものの、具体的に継続的に実施計画にあたり、どう協力出来るかどのような食料が良いのかまだまだ課題が残っている ②担当委員会は設置出来て、月1回オンラインで会議。具体的に社会的機能をどう地域支援につなげていくかが検討している ③子ども食堂団体と関係する教授の研修会に参加。職員の意識向上につながってきている。 ④保管や運搬は今のところ問題が特にないが、冷凍食品の運搬や賞味期限の課題がある。運搬においては、ライオンズクラブ経営者（配送業者）の協力がもらえている。

活動	進捗状況	概要
①福岡県母子生活支援施設協議会に担当委員会を設置（毎月1回会議の実施）食支援をしている講師の研修実施や県実施の食のパントリーにも参加予定 ②福岡県母子生活協議会を通じて企業等（2社）からの寄附受け入れ ③母子家庭や貧困に苦しむ子どもへ食支援してる団体との提携（3団体）既に300食の提供	ほぼ計画通り	①地域支援委員会を設置し、毎月1回の会議や研修会も実施。各施設で施設の社会的機能をどう地域支援につなげていくか検討に入っている ②大手コンビニエンスストアや子どもパントリーからの寄附が定期的に頂けるようになっていく例）全国食支援活動協力会様より（マヨネーズ1300本、飴3200個、肉70kg、チーズケーキ54個等）／セブンイレブン様より（アイスクリーム400個、やげん軟骨500個等） ③子ども食堂3団体との連携が取れ、既に累計300食以上母子世帯や困窮世帯に届いている。 ※寄贈頂いたものは、冷蔵か冷凍の食品が多いため今回購入設置した冷蔵冷凍庫が子ども食堂開催や母子世帯に渡す前まで長期保管が出来て大変役立っています。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>福岡県母子生活支援施設が各地域における社会的機能を果たすきっかけの一つになれるようにしたい。そのためには、地域での各団体との連携が不可欠であることと同時に地域の実態把握が必要となってきている。困窮する世帯（母子家庭含む）を子ども食堂団体、フードパントリー、地域の社会福祉協議会、応援する企業、ボランティア団体など多くの関係機関と一緒に支えて行けるようにしていきたい。また、地域間格差を感じることも多いため、移動子ども食堂の必要性を感じている。</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	-	¥3,985,000	¥3,985,000	¥3,985,000	100%
	管理的経費	-	-	¥0	¥0	-
合計		¥0	¥3,985,000	¥3,985,000	¥3,985,000	100%
補足説明		特に無し				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>困窮世帯への子ども食堂を通じて施設の社会的機能をどう世帯の支援につなげていくかを考えているが、子ども食堂の中でどのようなアプローチが効果的かがまだ見えていない。子ども食堂の地域性や内容により、告知方法や内容等の検討が必要になってきている。また、子ども食堂の実施状況で地域間格差を生んでいることが分かってきた。移動子ども食堂等を実施出来る団体を見つけていこうと考えている。</p>

VII. その他

自由記述
特に無し

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	12月に理事会
2. 内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	